

海老名の桜と史跡巡り

実施日：2022 年 3 月 26 日（土）

コース：相鉄・さがみ野駅(WC)→さくら並木商店街→八軒庭稲荷社→目久尻川沿いの桜並木→
産川橋と護王姫ゆかりの碑→北部公園→清水寺公園（龍峰寺・弥生神社）→相模国分尼寺
跡→逆川船着場跡→相模国分寺跡→海老名市温故館 解散 12 時 30 分頃予定
最寄り駅 海老名駅（相鉄・小田急・JR） 約（6km）

No.	見 所	由 来 ・ 史 跡
1	八軒庭稲荷社	天正 10 年（1582）天目山の戦いで敗れた本庄氏の一族八名がこの地に逃れ、八軒で集落を作り、地域の氏神として創建したといわれています。
2	目久尻川沿いの桜並木	川の名の由来はいくつかの説がありますが、以前の目久尻川の流には、U 字形をした場所や直角になっている所があって、大水のときは水の勢いが、出っ張っている川岸の土をえぐり取って流してしまった。このように、目にあまるほど川岸を削り取るので、「目久尻川」の名がついた。というのが、本当の理由ではないでしょうか。
3	産川橋と護王姫ゆかりの碑	永享の乱（1438）で護王姫（今泉館夫人）は落ち延びる際、橋のたもとで出産したことから名付けられた。姫は出産後亡くなり、子供も追討軍に殺されたといわれています。
4	龍峰寺	室町時代の南北朝期（1331～93）に創建されたと云われ、昭和 4 年（1929）に海老名小学校近くから、この地に移転した。古くは清水寺と呼ばれた。文化財には国指定の千手観音、市指定の観音堂、仁王門、仁王像などがあります。
5	弥生神社	明治 42 年（1909）に近隣 4 社を合祀、3 月に建てられたことから弥生神社と命名。国分村・八幡社（祭神誉田別命）、上今泉村・比良神社（祭神猿田彦命）、柏ヶ谷村・第六天社（祭神高産霊命）、望地・大綱神社（祭神日本武尊）
6	相模国分尼寺跡 （国指定史跡）	天平 13 年（741）聖武天皇の「国分寺建立の詔」により創建されました。相模国分寺の北方約 600m に位置している。建立は 8 世紀後半頃といわれ、発掘調査により、伽藍の配置あとが確認されました。遺構の保存状態は良いです。
7	逆川船着場跡	逆川は最古の人工の水路で、目久尻川から水を取り入れて海老名耕地に流れていた。国分寺付近では南から北に流れていたため「逆川」と呼ばれるようになった。この船着場跡は、平安時代以前に造られたと推定されています。
8	相模国分寺跡 （国指定史跡）	尼寺同様「国分寺建立の詔」により創建されました。全国でも珍しい「法隆寺式伽藍配置」、南北 300m、東西 240m という広大な寺域を占め、全国の国分寺の中でも最大クラスの規模であった。建物の跡は七重の塔、金堂、講堂、僧房、鐘楼、経蔵、中門、回廊などが確認されています。
9	海老名市温故館	大正 10 年（1921）相模国分寺跡が国指定史跡となり、国分寺跡保存整備事業の一環として、考古学資料等を保管・展示するため「遺物陳列館」を尋常高等海老名小学校の校庭に設置したのが始まりです。その後数度の移転を経て、現在の場所に移築し、平成 23 年（2011）にオープンしました。

コースは道幅・歩道が狭いところがあるので、横に広がらないようにご協力をお願いします。

次回案内

12 年に一度の寅薬師ご開帳と杉山神社巡り

4 月 16 日（土） JR 横浜線中山駅改札口 9 時 00 分～15 分

スタッフ募集中 ！

問い合わせ先 せや・ガイドの会 竹見（☎090-3900-6469）まで。

ホームページ「せや・ガイドの会」[検索]

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~seya-guide/index.html>